

第二次東大阪市立図書館基本構想 目次案

目次	概要
1 はじめに	
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経過や策定の背景 第一次基本構想の流れを受けた、第二次基本構想の位置づけ
2 構想の前提	
2-1 東大阪市の概要	
2-1-1 概要・沿革	<ul style="list-style-type: none"> 中核市であることや、人口等の市としての基礎情報 布施市、河内市、枚岡市が合併し、東大阪市が発足したことなどの沿革（後述する永和図書館（布施市立図書館開設）の概要に関連）
2-1-2 地勢・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーのまち、モノづくりのまち、大学のまち、文学のまち等の市ならではの特徴（後述する今後の図書館の特徴に関連）
2-1-3 人口推移	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や、若い世代が転出超過傾向であること、また、高齢者単身世帯の増加など
2-1-4 産業	<ul style="list-style-type: none"> 近年は製造業事業所数の減少傾向にあることなど、産業に関する概要（後述する今後のサービスにつながるものを中心に記述）
2-2 上位計画・関連計画	
2-2-1 上位計画との関連	<ul style="list-style-type: none"> 市の将来都市像である「つくる・つながる・ひびきあうー感動創造都市 東大阪市」や、教育施策の方向性も踏まえ、図書館の方向性やサービスを検討する
2-2-2 子どもの読書活動推進計画との関連	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動の推進と図書館の関連を踏まえ、第二次構想を策定し関連サービスを検討する
2-2-3 複合施設における計画との関連	<ul style="list-style-type: none"> 四条図書館が児童相談所との複合施設として新設されることから、児童相談所の基本構想や整備計画との関連性も考慮した上で第二次構想を策定し、四条図書館の方向性やサービスを検討する
2-3 図書館の現状	
2-3-1 概要	<ul style="list-style-type: none"> 3館2分室と移動図書館2台によるサービス網と、各図書館、各分室それぞれの概要及び位置づけ 令和2年、中央館としての機能は花園から永和に移管
2-3-2 電子図書館	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館の導入とサービスの現状、これまでの取り組み 令和3年4月に導入後、「日本最大級の蔵書がある図書館」として広報を行い、利用促進に取り組む 学校連携では、市立小中学校の全児童生徒にIDを付与、子供の読書活動優秀賞として文部科学大臣表彰を受ける 読み放題コンテンツの導入
2-3-3 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 貸出数や有効登録者数の統計データから分かる利用状況について、過去10年間の推移 市民利用率（年度有効登録者数）が6.6%と低く、利用は減少傾向にある 令和4年度末現在の電子図書館登録者数は令和4年度の図書館有効登録者数を超えている
2-3-4 蔵書数	<ul style="list-style-type: none"> 直近の市全体の蔵書数と、各館の内訳 令和4年度は864,448点。分類の中では9文学が多く、市民ニーズを適切に反映している一方、収集内容にやや偏りがみられる 四条図書館では施設の延床面積に対して蔵書数が多く、狭隘化している
2-3-5 各サービス実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 基本サービス、地域性を活かしたサービス、特定のニーズを持つ利用者へのサービスの概要
2-3-6 第一次構想の進捗	<ul style="list-style-type: none"> 第一次構想期間中に拡充したサービス（貸出可能数の増加や開館日増加、開館時間延長などの基本サービスの充実。学校司書の配置） 第一次構想において検討中、未実施であった施策における進捗（移動図書館、学校システムとの連携等）
2-3-7 関連施設	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館、リージョンセンター等、図書館と関連のある施設の概要と関連 府立図書館、隣接する自治体の市立図書館、その他文化施設などの概要と関連
2-4 望ましい基準・同規模自治体との比較	
2-4-1 望ましい基準との比較	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の設置及び運営上の望ましい基準と、市立図書館の現状の蔵書冊数、貸出冊数等を比較 望ましい基準に対して㎡あたりの冊数が多く、書架以外の滞在するスペースが不足
2-4-2 同規模自治体との比較	<ul style="list-style-type: none"> 人口が同規模の自治体と、市立図書館の現状の蔵書冊数、貸出冊数等のデータを比較 同規模自治体と比較し施設規模や蔵書等が少ないものの、府立図書館も含めた市内にある図書館関連施設を含めた場合は、資料が多くあるとも言える
3 市民ニーズの調査	
3-1 アンケート調査	
3-1-1 全体の実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想策定のためのアンケート実施について、全体の実施目的と概要
3-1-2 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者は70歳～50歳が多く、未利用者はそれ以下の世代や就業者が多い 電子図書館は10歳代で6割強の利用がある反面、全体では8割が電子図書館を利用したことが無い これからの図書館サービスに対しては飲食スペース等のニーズが多い 移動図書館については日程、場所の認知度の低さや停車時間の短さが課題
3-1-3 子育て層	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが騒ぎそうで行きづらいという声が多い 電子図書館の利用率は26.4%と一般市民よりは高いものの、知らないという声も多い これからの図書館サービスに対しては乳幼児・児童向けのイベントやカフェ等の飲食スペースのニーズが高い 使いやすい曜日・時間帯は休日が高く、「おもちゃのある遊び場」についてのニーズも多い 新しく出来る図書館について望むことに「子どもが声を出して遊べる」という意見が多い
3-1-4 学校関係者（児童・生徒）	<ul style="list-style-type: none"> 図書館を使わない理由として、「知りたいことはインターネットで調べる」が多い 電子図書館の利用率は40.9%と高く、タブレットやスマートフォンで読めることを高く評価 電子図書館を利用することで8割以上が読書への興味向上に影響があったと回答 これからの図書館サービスについてはコミック、Wi-Fi、カフェへの要望が高い 新しく出来る図書館について望むことに「明るくて居心地が良い」「勉強が出来る」「食べたり飲んだりしながら過ごせる」「友だちとおしゃべりできる」「ゲームが出来る場所」などの要望が高い

目次		概要
	3-1-5 学校関係者（教職員）	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館の導入により児童・生徒が「本を読む時間が増えた」との回答もあり、一定程度、読書への興味向上が伺えるものの、特に変わらないという意見も多い 新しく出来る図書館については、「明るくて居心地が良い」「勉強が出来る」のほか、「子ども・中高生向けの資料が充実している」などの要望が高い
	3-1-6 就業者	<ul style="list-style-type: none"> 全ステークホルダーの中で最も図書館利用が低く、理由として「忙しくて行く暇がない」「本や雑誌は購入して読んでいる」「情報はインターネットで得る」が高い傾向 電子図書館の利用も最も低く、理由として「電子図書館を知らない」が最も高い 図書館を使いやすい曜日・時間帯は休日や平日夜間が最も高い ビジネス支援では「電源やWi-Fi」「情報収集支援ツールの提供」「専門図書・資料の収集強化」のニーズが高い 新しく出来る図書館について望むこととして「明るく開放的で、居心地の良い空間」「気分転換・リフレッシュできる」「飲食しながら利用できる」の回答が多い
	(3-2 図書館利用者アンケート)	(令和4年度末に実施した図書館利用者アンケートの結果で、本編に関連する結果などがある場合は記述)
4 課題と今後の検討事項		
		・2構想の前提～3市民ニーズの調査で得られた結果を踏まえ、課題を整理
5 コンセプト：〇〇〇〇〇〇〇〇		
	5-1 基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> 4.課題を踏まえ、今後の市立図書館全体の方向性や大概念について記述し、後述するサービス整備方針へとつながる考え方 電子図書館サービスについて、学校連携を通じた子どもの読書活動の推進を図るとともに、今後の図書館サービス網の一つとしての位置づけ
	5-2 各図書館のこれからの在り方	・各図書館のこれからの在り方として、永和図書館・花園図書館・四条図書館の特色
	(5-3 既存施設の活用)	※要検討
6 サービス方針		
6-1 基本サービス		
		<ul style="list-style-type: none"> 資料収集・収蔵について（資料の質的な充実、開架スペース・書庫の拡充、配架場所の分散化、寄贈による量的な充実、計画的・効率的な実施） 閲覧・貸出・予約・レファレンス等について（閲覧環境の改善、貸出・返却機会の拡充、開館時間の改善、レファレンスサービスの充実）
6-2 特色あるサービス		
	6-2-1 永和図書館	・ビジネス支援サービスの更なる充実とその内容について
	6-2-2 花園図書館	・ラグビー場と隣接する立地を活かし、「ラグビーのまち」を活かしたサービス、またラグビーにとどまらずスポーツに関するサービス提供について
	6-2-3 四条図書館	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所との複合化にともなう、子育て支援サービスとその内容について 複合化による相乗効果を創出するサービスについて
6-3 特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス		
	6-3-1 世代ごとのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者の拡大や、市民が本に触れる機会の拡大に繋がる、それぞれの属性・ニーズに特化した新しいサービスの提供について、各属性とサービスの概要 乳児期～幼児期→子育て支援サービス、乳幼児、幼児期を対象としたイベントの実施等 学齢期→学校連携サービス、こどもの読書活動推進に向けた取り組み 社会人→ビジネス支援サービス 高齢者・障害者→読書バリアフリーサービス、生涯学習、これまでのキャリアを活かした活躍の場の提供など（各属性に向けたサービスの中で、他施設と関連する学校連携サービス、各館の特色でもある子育て支援サービス、ビジネス支援サービス、法に関連する読書バリアフリーサービスについては、別項目で詳細を記述する）
	6-3-3 子育て支援サービス	・ブックスタート、健診時のパンフレット配布、読み聞かせアドバイス等、子育てに関する課題解決のための資料収集等
	6-3-2 学校連携サービス	・学校司書配置、団体貸出、出前講座等
	6-3-4 ビジネス支援サービス	・ビジネス支援コーナーの設置、講座の開催、ビジネス専門レファレンスサービスの実施、女性のキャリアアップ支援、大学関連情報の発信等
	6-3-5 読書バリアフリーサービス	<ul style="list-style-type: none"> 大活字本の充実、点字資料やデジ図書の充実、市内・近隣の病院や介護施設などについての情報提供等 電子図書館の使い方講座や情報発信など、利用促進につながる取り組み等
7 実施スケジュール		
		・四条図書館供用開始までを目安として記載

※目次案は進捗により変更となる可能性があります。